

10. 資本の循環・回転

企業はノン・ストップ

今回の課題

- ✓ 個々の企業について、生産と流通とを交互に行う運動の全体像を明らかにする
- ✓ この全体運動をスムーズに、素速く行うことの意義を明らかにする
- ✓ この全体運動をスムーズに、素速く行うための条件を明らかにする

回転期間

資本回転

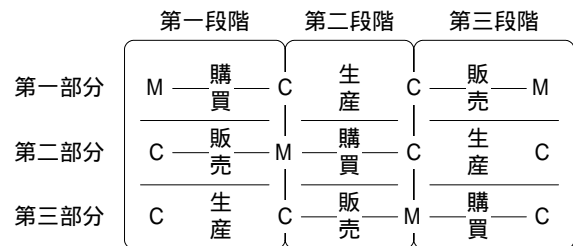
投資した金額が繰り返し回収されること

回転期間

1. 購買期間
2. 生産期間
3. 販売期間

資本の分割

どの段階でも資本が稼働している



貸借対照表の資産項目で言うと...

貨幣資本段階

➢ 現金・預金, 受取手形・売り掛け金など

生産資本段階

➢ 生産在庫(棚卸資産の原材料・仕掛かり品, 固定資産など)

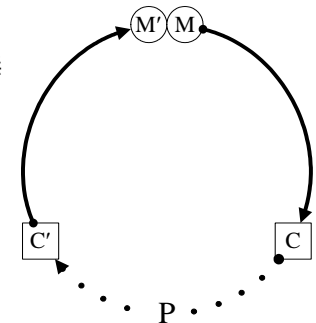
商品資本段階

➢ 商品在庫(棚卸資産の製品など)

資本の回転

倒産しないかぎり, 終わることができない無限運動

Going Concern



ノンストップ経営

資本は人間じゃありません
資本の生活リズムは、人間の生活リズムとは
違います
年中無休が理想です
24時間働えます

固定資本と流動資本

固定資本

大部分の労働手段(機械設備, 建物など)

流動資本

大部分の労働対象(原材料など)
労働力

固定資本の特徴

部分的な価値移転と減価償却
一回転期間中に
生産において
有用物としては全部役に立つ
価値は一部だけ移転
販売によって
売上の一部分を減価償却基金として積立
何回転も経た後に
購買において
初めて更新

回転速度

資本が一定期間においてどれだけ効率よく運用されたか

資本の回転速度

流動資本の回転
どのくらいのスピードで付加価値生産が行われたか

資本の平均回転速度

総資本の回転
最初に投下した全投資額がどれだけ効率よくまわったか

一年間のカネモウケの指標

一回転期間中の利潤率では不十分

年間利潤率

$$\frac{s}{C+v} \cdot n$$

早く買って、早くやって、早く売れ

回転速度を速めるには回転期間の短縮が必要。

回転期間を構成する購買期間, 生産期間, 販売期間がボトルネックになる。

各期間がスムーズに進行しないと, 余計なムダガネも必要になる。

各種の在庫, 予備金など

購買期間

労働力・生産手段の価格・供給量の変動

予備の購買費用および予備の生産在庫

対応例

掛け買い

雇用の長期化 流動化のチョイス

→社会的に見ると、貸付資本の必要性

生産期間

生産在庫の増大

対応例

ロット分割

工程間のスムーズな連携(Just-In-Time)

イノベーション

販売期間

真のボトルネック

市場社会では、結局売れてみないと、需要があるかどうかはわからない

商品在庫の増大

対応例

掛け売り、注文生産

詳細なマーケティング、宣伝・広告

→社会的に見ると、商業資本の必要性